

1 学習に取り組んでいる主な分野

<input type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input checked="" type="checkbox"/> 平和	<input checked="" type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ()	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、「家庭や地域の人々とともに児童を育てる」を学校理念としている。ESD を家庭や地域社会との連携を深め、未来日本社会や郷土を支える力をはぐくむ教育活動と捉え、ESD の実践を通して、友達や地域の人々と協働して課題解決を図る力の育成を目標としている。

具体的には、SDG s 11「住み続けられるまちづくりを」、同 17「パートナーシップで目標を達成しよう」を中心に、①福祉に係る学習、②環境に係る学習、③地域の文化遺産に係る学習等を行っている。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 地域の文化遺産に係る学習

5年生では、「ふくさと再発見」の学習において、地域の史跡・遺跡、文化財を題材に地域をめぐり、現地調査をしながら学習を行った。本校区には様々な時代にまつわる史跡・遺跡、文化財が点在しており、地域の方々も大切に保存・継承されている。

そこで、資料を活用してそれらを事前に調べ、現地調査の時はG Tに説明していただき、その歴史や言われなどを学び、その価値を感じ取っていた。そして、これらをたくさんの地域の方にも知っていただくためにまとめ、4年生にも伝え、次年度の活動を考える一助となるよう発信した。



○ 環境に係る学習

4年生では、「隈川探検隊」の学習において、学校の目の前の水路にホタルが舞う地域の魅力を探るために、川の環境に目を付け、水生生物や水質調査を行い、川周辺の環境の状態や水環境のよさを学び、この環境を保全していく必要性から、地域へ発信することを目指して学習を進めていった。

この学習を通して、子供たちは、川と森、海とそこに棲む生物たちの関係をとらえ、地域の自然の守るために自分たちに実践できることとして、ポスターを作成し、地域の店舗に掲示させていただくよう交渉し、環境保全について啓発を図る活動を行った。



○ 地域を元気づける地域貢献活動に係る学習

6年生では、地域最大のお祭りに参画し、イベントを盛り上げるよう企画を検討し、自分たちにできることでブースを出して、お祭りに参加された方に楽しんでいただくことができた。

また、地域の高齢者サロンに年間をとおして読み聞かせ活動に行き、地域の方に楽しんでもらえるよう練習を重ね、取り組んでいった。一人複数回実践したことで、改善されたこともたくさんあり、地域の方々から頼りにされる喜びを味わうことができた。



3 今後の活動計画

次年度は、主な学習内容や学習する学年は継続するとともに、ふるさと学習（環境と福祉、地域文化財等）を柱とした体験活動や探究活動をさらに充実させていく。そのために、以下の4点について改善していく。

- 1 横断的・総合的なESDの実施を通じた、PDCAサイクルの改善。
- 2 本校における世界遺産・文化財教育により育成する資質・能力の明確化及び地域と協働した学びの場の工夫。
- 3 地域の「ひと・もの・こと」を最大限に活用できるための連絡・調整の在り方の検討。
- 4 目的・内容・方法を明確化した、体験活動や協働学習のさらなる促進。